

岩手

| | | |
|---|--|---|
|  最大震度 |  全壊 |  死者 |
| 6弱 | 19,508棟 | 5,145人 |
|  浸水面積 |  半壊 |  行方不明者 |
| 58km ² | 6,571棟 | 1,110人 |
|  最大浸水高 |  一部損壊 |  負傷者 |
| 38m(宮古市) | 19,066棟 | 213人 |

一歩ずつ前へ

復興のあゆみ

2017年

- 4月27日 商業・図書館複合施設「アパッセたかた」オープン
- 4月29日 商業施設「キャッセン大船渡」オープン
- 12月8日 釜石市民ホール「TETTO」開館記念式典を開催



2018年

- 6月2日 「東北絆まつり2018盛岡」開催
- 6月10日 「大槌町文化交流センター おしゃっち(P38)」開館
- 8月19日 釜石鶏住居復興スタジアムが完成し、オープニングイベントを開催



- 10月1日 宮古市中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」供用開始
- 12月14日 陸前高田市立久慈小学校の校舎が新築され、県内の被災公立学校86校すべての再建が完了

2019年

- 3月9日 復興道路「東北横断自動車道釜石秋田線」全線開通
- 3月23日 三陸鉄道「リアス線」全線開通
- 6月9日 「みちのく潮風トレイル」全線開通
- 9月22日 「東日本大震災津波伝承館(いわてTSUNAMIメモリアル・P46)」が開館
- 9月25日 ラグビーワールドカップ2019日本大会で、フィジー対ウルグアイ戦が釜石鶏住居復興スタジアムで開催される



2020年

- 3月22日 「復興の火」としてオリンピック競技大会の聖火が岩手に到着(大船渡市・宮古市・大槌町・山田町)
- 5月18日 三陸鉄道リアス線「新田老駅」開業(宮古市)
- 8月1日 大船渡港野々田地区緑地公園(サン・アンドレス公園)がオープン(大船渡市)
- 12月7日 災害公営住宅泉南青山アパート(盛岡市)が完成し、県内の災害公営住宅全5,833戸の整備が完了
- 12月17日 陸前高田市気仙町今泉地区で「陸前高田発酵パークCAMOCY」が開業

2021年

- 1月23日 まちづくり連携道路「主要地方道重茂半島線」完工(宮古市・山田町)
- 3月28日 復興道路「宮古盛岡横断道路」が全線開通
- 12月18日 復興道路「三陸沿岸道路」全線開通

※参考・引用資料

- 岩手県東日本大震災津波の記録,平成25年3月発行,岩手県
- 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度,平成24年12月,気象庁
- 津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報),平成23年4月18日,国土地理院
- 津波痕跡データベース,東北大学災害科学国際研究所 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
- 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙),令和4年3月8日(火)14時00分,消防庁災害対策本部
- いわて復興の歩み(第5版),令和3年5月発行,岩手県

2011年

- 3月16日 三陸鉄道北リアス線陸中野田〜久慈間の運行再開(以降、4月1日までに他2区間で運行再開)
- 4月9日 県内初となる応急仮設住宅への入居開始(陸前高田市)
- 7月26日 自衛隊が支援活動任務を終了。県庁前で感謝式開催
- 8月11日 県内すべての応急仮設住宅が完成
- 8月31日 県内のすべての避難所を閉鎖



2012年

- 2月10日 国が復興庁を設置し、盛岡市に岩手復興局、宮古市と釜石市に支所が設置される
- 4月1日 いわてデスティネーションキャンペーンを開催
- 12月10日 県内で初めて災害公営住宅への入居開始(大船渡市盛中央団地)

2013年

- 3月2日 JR大船渡線気仙沼〜盛間でBRTの運行を開始
- 4月1日 久慈市をメインロケ地にしたNHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送開始
- 4月3日 三陸鉄路南リアス線盛〜吉浜間の運行再開
- 7月3日 「奇跡の一本松」保存事業完成式開催



2014年

- 3月31日 災害廃棄物処理が終了
- 4月5日 三陸鉄路南リアス線吉浜〜釜石間の運行再開により全線開通
- 4月6日 三陸鉄道北リアス線小本〜田野畑間の運行再開により全線開通



2015年

- 4月26日 小袖海女センターが新築オープン(久慈市)
- 7月8日 釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録

「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録

2016年

- 1月27日 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体冬季大会」を開催
- 4月17日 大槌町の浪板海岸に「浪板海岸ヴィレッジ」がオープン
- 4月23日 「久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ(P25)」が営業再開
- 10月1日 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体本大会」を開催
- 10月22日 第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」を開催
- 11月10日 山田町で共同店舗「オール」オープン

浪板海岸ヴィレッジ



久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ

写真提供:岩手県

岩手県の沿岸部は、過去に幾度も大津波の被害を受けてきました。明治29年(1896)、昭和8年(1933)の三陸地震津波、昭和35年(1960)のチリ地震津波。しかし東日本大震災による津波はそれらを上回り、各地に甚大な被害をもたらしました。

死者、行方不明者、負傷者を含めた人的被害は、沿岸部地域の人口の2.3%(2019年12月31日時点)にのぼり、住家被害は全・半壊だけでも2

万6000棟以上。そのほとんどが津波による被害です。現在は「いわて県民計画(2019-2028)」において復興推進の取り組みが行われており、2020年12月には計画していた5,833戸の災害公営住宅が完成。2021年12月には三陸沿岸の縦貫軸および、内陸部と沿岸部を結ぶ「復興道路」も全線開通し、ハード・ソフトの両面から復興がさらに加速しています。



1 旧大槌小学校(現大槌町役場)は津波とその後に起きた火災によって大きな被害を受けた(大槌町) 2 野田村役場前の通り。呆然とたたずみながられきを見つめる(野田村) 3 鳥越地区を通る三陸鉄道の高架橋も津波で破壊された(田野畑村) 4 旧市役所前堤防を乗り越える津波(宮古市) 5 山田町役場屋上から撮影。山田、田の浜の2地区で大規模な津波火災が発生(山田町) 6 久慈市

侍浜町の「久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ(P25)」。津波で地上にあった管理棟が全壊した(久慈市) 7 市街地を津波が襲い、釜石港内では大型貨物船が漂流した(釜石市) 8 津波来襲後の中心市街地(大船渡市) 9 浸水した市役所(陸前高田市) ※ ()内は写真提供

あの日何が起きたのか...